

平成26年度 県立国際高等学校 学校評価シート (年度末) 集計結果

【学校評価実施方法】
 (1) 今年度の実践目標の項目1~21について、本校全教職員による「4段階評価」を実施する。
 4……よくできている 3……できている 2……あまりできていない 1……できていない
 (2) 各項目ごとに平均をとり、その平均値について次の基準でA~Dの達成段階をつける。
 平均値≧達成段階 1.0≦x<2.0⇒D, 2.0≦x<2.8⇒C, 2.8≦x<3.5⇒B, 3.5≦x≦4.0⇒A

領域	評価の観点	評価項目	番号	担当 分掌	平成26年度 実践目標	4	3	2	1	平均	達成 段階	具体的な改善 策評価の場 合は必ず記入	学校関係者評価 意見	平均	達成 段階
学 校 運 営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	1	総務 広報	個人情報の取扱いに関する校内規定の適切性を検討するとともに、学校のホームページを通じて学校の情報を発信し、週1回以上内容を更新する	13	21	4	0	3.22	B		【全般について】 ・先生方の意識が強く感じていることを感じる。 ・目に見える客観的な指標が必要である。 ・各項目ともよく努力されている。【17・18】 前年度比5%削減が実現でき、企業でもなかなかできない取組である。 【30】より充実した進路選択ができるように、グローバルな視点で卒業生等と呼べるようになればよい。	3.10	B
	勤務時間の適正化	校務・事務の効率化・IT化	2	全体	会議資料の事前配布、会議の所要時間を明確にすることで校務の効率化を図る	13	23	3	0	3.26	B			3.38	B
			3		会議時間の短縮及び効率的な進行のために、提案予定案件を精査する	7	25	6	0	3.03	B		3.07	B	
			4		会議での配布資料(内容・枚数)を精選する	8	26	5	0	3.08	B		3.10	B	
	生徒指導	生徒指導方針の確立と指導体制の構築	5	生徒指導	戸塚国際中等教育学校と連携して登校指導を行い、生徒の通学マナー向上を図る	10	26	3	0	3.18	B			3.00	B
			6		生徒向けに「はじめに」に関するアンケートを年2回実施し、いじめ対応チームで内容分析や事実確認を行う。また、「ケイタイ安全教室」を実施して、SNS等がいじめの火種になることを理解させて、携帯電話の正しい利用方法を学ばせる	12	27	0	0	3.31	B		3.26	B	
			7		県立国際の制服を正しく着ること、自然な服装で生活することの大切さなど基本的な生活習慣を身につけることを目指す	10	26	3	0	3.18	B		3.12	B	
	進路指導	進路指導体制の充実	8	生徒指導	年度当初に生徒会、各専門委員会が目標を立て、その目標を提示し、目標達成に向けて積極的な活動を行い、目標を実現できるように指導する	7	23	6	1	2.92	B			3.05	B
			9		進路指導室の充実を図り、進路適性、研修等で教職員・保護者等に進路情報を提供し、情報の共有を図る各年次との連携を強化し、進路HRを共同で企画運営し、種々かな進路指導の実現を図る	10	27	2	0	3.21	B		3.34	B	
			10		職業人インタビュー、大学訪問、大学説明会、卒業生講話等をおして自らの興味・関心・適性に応じた進路選択の支援を行う	13	23	3	0	3.26	B		3.37	B	
	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	11	進路	模試結果や進路実績、学習成績などを総合的に分析して、進路指導方針策定や生徒個々の進路指導に資する情報提供を行うためのシステムを構築し、その実践的な活用を図る	7	30	1	1	3.10	B			3.17	B
			12		教務	計画的に授業公開を実施し、生徒による授業改善につながる授業アンケートを行い授業改善に資する	2	34	3	0	2.97	B	具体的課題と改善策を明示してください。	3.00	B
			13		全体	人権教育、教育相談、保健、情報機器・視聴覚機器等に関する実践的な校内研修を実施するとともに、職員会議等の機会を利用して報告会を行う	10	27	2	0	3.21	B		2.95	B
	危険管理体制の整備	効果ある学校マニュアルの策定	14	全体	生徒及び来校者に対し、積極的に挨拶を行う	8	29	2	0	3.15	B		生徒・教職員ともに、挨拶からの挨拶待ちが見受けられる。	3.00	B
			15	管理職 総務	校内安全点検を学期に1回実施するとともに、日頃から危険箇所を把握し、危機管理(防災)マニュアルを必要に応じて改善し、職員・生徒・保護者に周知する	7	28	3	1	3.05	B		3.07	B	
			16	全体	こまめな消灯、計画的な放水、紙類使用等を励行する	6	29	4	0	3.05	B		2.98	B	
	適正・効果的な予算運営	経費削減等の取組	17	全体	コピーカウンター数を前年度比5%節約する	9	27	1	1	3.16	B			3.00	B
			18	全体	学校全体で、更紙使用枚数を月あたり1,000枚、コピー用紙使用枚数を月あたり1,000枚削減する	5	26	7	0	2.95	B		2.86	B	
			19	事務	文書の校正はデータ(パソコン)上で行い、サンプル印刷は最小限とするよう努める	5	25	7	0	2.95	B		2.95	B	
	学校経営管理	指示の徹底	20	事務	備品・消耗品の計画的・効率的な予算執行を行う	3	28	4	0	2.97	B			2.84	B
			21	事務	新規事業の立案にあたっては、既存事業とのスクラップ&ビルドを行うよう努める	2	26	3	0	2.97	B			2.94	B
22			事務	複数年度継続している事業・取組については、3年を目途にその効果を検証し、継続の必要性、実施方法等を抜本的に見直す	2	24	5	0	2.90	B			2.89	B	
教 育 課 程 ・ 学 習 指 導	教育課程	自ら考え、課題を解決する力の育成	23	管理職	業務の明確な指示を行うために、日頃から教職員と意思疎通を行う	4	18	13	3	2.61	C	意志疎通を明確にメールで済ませない。研修、互いに全体を見据えた前向きな意見の交換を行う。		2.83	B
			24	教務	新学習指導要領に対応した教育課程のもとで、課題解決能力を育む	7	26	5	0	3.05	B			3.13	B
			25	総務	戸塚国際中等教育学校と連携し、より実践的な防災訓練を合同で年2回実施し、防災新聞を学期に1回発行することで防災意識の向上を図る	9	28	1	0	3.19	B			3.17	B
			26	体育科 保健環境	生徒、教職員を対象とした緊急法講習会を開催・参加し、生命と安全に対する意識と技術を高める	10	28	0	0	3.24	B			3.21	B
			27	人権 生徒指導	「共生」をテーマとして、「外」と共に生きる「J」しょうがい者と共「い」きるを学ぶため、人権教育推進委員会を中心として講演会やホームルーム活動を計画・実施	7	27	4	0	3.08	B			3.07	B
			28	国際	英語圏や英語圏以外の人々とのワークショップを通じて多言語・多文化を受容する素地を作る	18	20	1	0	3.44	B	事業の目標・意義と実施方法の見直しも定期的に必要		3.46	B
総合的な学習の時間・体験活動(高校生ふるさと実践活動・就業体験事業)	地域社会に貢献できる活動を通じて、社会性・自主性の育成	29	国際 1年次 総務	総合的な学習の時間において、社会への貢献活動を実施するとともに、高齢者との交流、園児の収穫体験、カヌーを通じた交流、通学路の清掃活動等を行う	15	22	2	0	3.33	B		地域の方々との積極的な接触・交流機会を設定してはどうか。	3.37	B	
		30	進路	就業体験事業を実施し、生徒が自己の将来のあり方、生き方について考え、目標をもって主体的に進路選択ができるようにする。卒業生等を対象とした職業人パノラマを充実させる	9	25	5	0	3.10	B		卒業生による人材バンク(リスト)を作成してはどうか。	3.20	B	